

県総合畜産だより

昭和 39 年度 枝肉共進会日程決る!!

肥育技術の向上と肉畜流通の近代化を目指し

本会では急速に延びる和牛肥育技術の向上と有利な販売による農家所得の増大を図り、併せて共販体制の推進と流通の近代化を促進するため、昨年に引き続き本年度も下記日程により枝肉共進会（共励会）を開催することとしたので、広く県下肥育牛生産農家の方は奮って出品なさる様お知らせ致します。

開催計画は次の通りです

1. 出品資格

和牛は県内産のもので去勢牛では 36 カ月未満、牝牛では 6 才のもので生体重 450kg（120㍓）以上のものであること。豚については生体重 100kg 以内のもので出品は農協単位に依る 5 頭を 1 セットとする。

2. 出品申込

総合畜産支所に備付の出品申込書に署名捺印の上、会期 10 日前までに提出すること。

3. 審査

審査は別に定める日程に依り第 1 日第 1 会場である家畜市場において生体審査をなし、屠体審査は第 2 日第 2 会場の岡山県食肉市場において冷屠体で行う。

但し、共励会出品は第 1 日午後食肉市場に搬入し、第 2 日屠殺解体の上温屠体で行う。出品枝肉は審査の結果に依り次の 3 等級に分けて入賞せしめると共に次の様にそれぞれ授賞する。

最優秀賞

優秀賞

優良賞

但し、肉豚については最優秀賞 1 セットを入賞せしめる。

4. 褒 賞

審査の結果、入賞したものにそれぞれ本会及び関係機関よりの賞状、賞品を交付する。

5. 販 売

出品枝肉は総て岡山県食肉市場で本会の規定による全面委託販売として、せり売りする。販売代金は本会に於て精算し出品所属農場に支払うものとする。尚、買参組合に対しても買上者に景品抽せん券を交付し積極的に販売対策を講じている。

6. その他

このことに関し詳細は最寄の本会支所に照会のこと。

昭和39年度 枝肉共進会（共励会）開催日程

会 名	開催月日	会 場		出品頭数	出品管内	事 務 局
		第 1 日	第 2 日			
第 1 回 岡山県内枝肉共励会	39. 8. 7		岡山県食肉市場	肉牛 15 肉豚 20	全 県 下	総合畜産本会
第 2 回 岡山県内枝肉共励会	39. 9. 15		〃	15 20	全 県 下	〃
第 3 回 岡山県内枝肉共励会	39. 9. 25		〃	10 10	全 県 下	〃
第 4 回 岡山県内枝肉共励会	39. 10. 2		〃	20 20	全 県 下	〃
第 5 回 岡山県内枝肉共励会	39. 10. 13		〃	20 20	全 県 下	〃
第 6 回 岡山県内枝肉共励会	39. 11. 5		〃	20 20	全 県 下	〃
第 7 回 岡山県内枝肉共励会	39. 11. 19		〃	20 20	全 県 下	〃
第 4 回 総社枝肉共進会	39.11.24~25	総社家畜市場	〃	20 20	総社市郡 吉備郡	総合畜産倉敷支所
第 7 回 倉敷枝肉共進会	39.12. 2~ 3	倉敷家畜市場	〃	20 20	倉敷市郡 倉敷郡	〃
第 4 回 瀬戸枝肉共進会	39.12. 9~10	瀬戸家畜市場	〃	20 20	赤磐郡 和気郡	総合畜産岡山支所
第 3 回 岡山県枝肉共進会	39.12.18~20	岡山県食肉市場	〃	45 35	全 県 下	岡山県畜産課
第 3 回 岡山枝肉共進会	40. 1.24~25	岡山県食肉市場	〃	20 20	岡山県市郡 山形市郡 大寺市郡 久保市郡	総合畜産岡山支所
第 8 回 岡山県内枝肉共励会	40. 1. 7		〃	15 20	全 県 下	総合畜産本会
第 9 回 岡山県内枝肉共励会	40. 1. 28		〃	15 20	全 県 下	〃
第 10 回 岡山県内枝肉共励会	40. 2. 10		〃	15 20	全 県 下	〃
第 11 回 岡山県内枝肉共励会	40. 2. 17		〃	15 20	全 県 下	〃
第 12 回 岡山県内枝肉共励会	40. 3. 10		〃	15 20	全 県 下	〃

7月の子牛市況

頭数の減少 価格の上昇が目立つ

上場頭数は前年同期比 302 頭 (14%) 減少、価格は前年比 9,800 円 (25%) 上昇した。全国的に供給は漸減、需要は漸増の傾向にある。だが、どれでも買え買えのムードではなく、あくまで肉用に適したものを買い進んでいく格好、特に英田地区のものは規格の向上も目立ち去勢牛 (おすの大部分が去勢牛)

に好感をもたれて、前年比 12,700 円高と好調であった。市況次表の通り。

市況の見直し

繁殖素牛 (めす) は各県制度融資等の枠が決らないので 8~9 月一ぱいは買出動きが少なく、めす、ぬき共に強気横ばいで推移しよう。

開設日	地区別	入場数	売買数	売買率	1 頭当りの価格				5 月 対 比	前 年 同 期 比
					めす	おす	ぬき	平均		
4 ~ 8	真 庭	502	462	92	37,400	32,500	—	35,100	+ 3,200円	+ 8,700円
10 ~ 12	津 山	926	900	97	37,000	34,300	34,600	35,600	+ 3,700	+ 10,600
13	勝 間 田	85	78	92	35,000	27,500	33,400	33,500	—	+ 8,500
15 ~ 16	英 田	226	222	98	35,600	29,200	33,700	34,400	+ 9,800	+ 10,000
計		1,739	1,662	96	36,900	33,500	34,100	35,200	+ 4,700	+ 12,700

肥育促進剤 ユラシミン (飼料添加・仕上用)

和牛のホルモン肥育については本誌 3・4・5 月号にて岡大教授農学博士「和田教授」より詳細登載され、ホルモン肥育の経済性等充分御了解出来たことと思いますが、本会では此の度、最も進歩した理想的な肥育促進剤「ユラシミン」を発売することとしたので、肥育農家の利用を乞う。

ユラシミンの特長

1. 増体と肉質改善に著効のある抗甲状腺物質の他に、更に効果を高めて肥育に適した生理作用を及ぼすようにビタミン A、D₃、ミネラル、酵母、精神安定剤などが理想的に配合された非常にぜいたくな処方最新の強力肥育促進剤であります。
2. 増体率や飼料の利用性が非常に高まります。即ち本品の投与によって与えた飼料を無駄なく消化吸収して良質の肉が増産されることとなります。
3. 仕上期における肥育牛の喰いどまりがみられ

ません。

4. 盛夏における牛の肥育にも高い増体率を示します。
5. 去勢牛の若令肥育における肉色が淡いという欠点を少くします。

ユラシミンの用途

雄牛、老廃牛の肥育促進と肉質改善にユラシミン去勢牛、雄牛の肥育促進と肉質改善にユラシミン S

ユラシミンの使い方

1. 本剤は肥育完了予定日の 55 日位前から、与え始めて、50 日間投薬し、終わったら 5~7 日後に出荷して下さい。
2. 1 日の用量 20 g を普通 2~3 回に分け、濃厚飼料に混ぜて与えます。

添付のサジはすりきり 1 杯で約 10 g です。